

平成28年度 事業報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

事業概要

当センターにおいては、社会参加への意欲ある健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与する事」を念頭に、安全で適正な就業の推進、会員拡大に向けて新入会員の募集を図る方策に取り組む及び大島町との連携を図り、福祉・家事援助サービス事業導入に向けた事業運営に努めました。

更に、広報紙、ボランティア活動、作品展・ゲートボール大会の開催等により当センターへの住民の皆様のご理解及び認知度の向上によって、契約金額・受託件数等の増へと成果を得ることが出来ました。

当年度の事業実績につきましては、特に民間部門の各項目が対前年度比増となり、契約金額については1億7千万円強となり、創立以来最高の契約高となりました。

平成28年度事業実績一覧表

(単位円)

		平成28年度	平成27年度	比較
契約金額	公共	134,460,657	134,030,812	429,845
	民間	37,036,885	35,019,584	2,017,301
	合計	171,497,542	169,050,396	2,447,146
受託件数	公共	630	620	10
	民間	667	647	20
	合計	1,297	1,267	30
就業延実人員	公共	3,490	3,379	111
	民間	1,977	1,898	79
	合計	5,467	5,277	190
就業延日人員	公共	20,280	20,430	△150
	民間	6,159	5,878	281
	合計	26,439	26,308	131
配分金	公共	114,759,459	115,530,603	△771,144
	民間	32,041,545	30,005,879	2,035,666
	合計	146,801,004	145,536,482	1,264,522
材料費	公共	9,102,152	7,797,204	1,304,948
	民間	2,133,077	2,279,718	△146,641
	合計	11,235,229	10,076,922	1,158,307
事務費	公共	10,599,046	10,703,005	△103,959
	民間	2,862,263	2,733,987	128,276
	合計	13,461,309	13,436,992	24,317

事業報告

1. 就業開拓提供事業

大島町・東京都及び関係諸団体に対して、就業開拓等日常的に連携を深める事により、ほぼ例年通りの契約実績となりました。

企業・家庭に対する実績は、受託件数・契約金額ともに増となり、この事は日頃の就業の様子、シルバー大島・ボランティア活動等の効果と推察できます。

目標である就労率は75%以上ありますが、今年度は昨年と同様となる78%となり、目標を上回る事が出来ましたが今後もより改善に務めます。

家事援助サービス事業については、まず福祉・家事援助コーディネーターの導入を図り、大島町との連携による生活支援サービス事業導入へとつなげることが出来ました。

なお、シルバー型労働者派遣事業の導入につきましては、今後も検討を進めます。

2. 普及啓発事業

本年は広報紙（シルバー大島の発行）、ボランティア活動、作品展の開催等会員・役職員の協力により予定通り実施することが出来、地域の皆さんとの交流を図る事及び就業開拓・会員拡大を推進することが出来ました。

3. 研修・講習事業

東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会に役職員が受講し、報告する事により、情報の共有化が進み、安全就業・適正な就業を推進しました。

より一層の改善を進めるために会員へのお知らせ等を通し、周知する事を図りました。

また、就業支援講習会を東京しごと財団と共催する事により、会員のスキルアップを図り、今後の就業支援へとつなげました。

4. 調査研究事業

関係法令等の遵守に務め、適正な就業・請負契約の推進を図るため、長年にわたり実績を計上していた自動車運行業務については返上する事となり、また、シルバー型労働者派遣事業の検討を行った。

更に、生涯現役社会の実現に向けた、新たな就業機会の創出を図るべく、生活支援サービス事業の導入を推進した。

5. 相談事業

就労及び入会相談窓口は事務局応接コーナーでは毎日、当センター主催行事等のイベント会場でも随時行ってきましたが、主だった成果を得ることが出来なかった。

なお、既存会員による声掛け運動（会員紹介報奨制度の活用）によって、4名の会員が入会された。

また、新入会員となった12名の方々が、希望する就業に沿ったグループ就業を行っています。

6. 安全就業推進事業

昨年に引続き、事故ゼロを目標に掲げ事業を推進しました。

安全就業は理事会の下、安全管理委員会を中心に安全意識・健康管理の徹底と、就業中及び就業途上での事故防止を図りました。

委員会による安全パトロールの実施及びシルバーニュース・お知らせにより、会員へのタイムリーな周知を心がけ、さらに職員による日常的なミーティング及び就業場所パトロール等で安全就業の徹底を図りましたが、残念ながら1件の傷害事故が発生しました。

7. 法人運営

公益社団法人の運営について、理事会の下に組織的で機能的な事業運営を行うために内部管理、内部統制が機能する様図りました。

更に、自動車管理規程制定等関係規程の整備を行った。

また、役職員一体となり法令遵守のもとに、運営全般の把握・事務の効率化及び適切な経理処理等について、理事会を中心とした組織運営に務めました。